

## 【ご案内】2018年度日韓ビジネス交流・協力に関する需要調査（ニーズ・シーズ）

拝啓 大寒の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊財団では、韓国からの製品・技術導入および韓国市場への進出・技術ライセンスングをお考えの日本企業様を対象に、下記の通り需要調査をいたします。本調査にご協力いただいた各団体および企業様に対しましては、ご希望される製品や技術に関して、パートナー発掘から契約締結まで一連のサービスを弊財団が支援いたします。

韓国企業とのビジネス協力のご希望がございましたら、別添の調査票にご記入の上、担当までお知らせください。

今後ともお引き立て賜りますようお願い申し上げます。貴社のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

敬具

### 記

- 調査内容：2018年度日韓ビジネス交流・協力に関する需要調査
- 目的：日韓ニーズ・シーズマッチングによるビジネス交流・協力活性化
- 対象分野：産業全分野（医療・バイオ、4次産業革命分野、環境・エネルギー等）
- 調査期間：2018年2月2日（金）まで
- 調査対象
  - 1. 【韓国⇒日本】
    - 1) 韓国企業から製品（完成品、部品・素材など）輸入を希望している日本企業
    - 2) 韓国企業から技術導入、共同 R&D など技術協力を希望している日本企業
  - 2. 【日本⇒韓国】
    - 1) 韓国企業へ製品（特許・ノウハウなど独自技術によるオリジナル製品）輸出を希望している日本企業
    - 2) 韓国企業へ技術ライセンスング、共同 R&D など技術協力を希望している日本企業、研究所および大学
  - 3. 【日本・韓国⇒第3国】  
韓国企業との技術協力などパートナーシップを通じて東南アジアなど、第3国への進出を希望している日本企業
  - 4. その他、韓国企業とのビジネス協力を希望している日本企業

□ 段階別支援内容 → バイヤー発掘から成約まで、一連のプロセスを全面的にサポート

- 1) 当財団の韓国インフラ及びネットワークを通じて日本技術・製品を韓国へご紹介  
(韓国語資料作成は無償で支援)
  - ・ 当財団 DB 約30, 000件、コーディネーター90人、協力機関35機関、担当者など活用
  - ・ 潜在バイヤー発掘など成約の可能性ある優秀技術を選別
- 2) 韓国(ソウル)で技術商談会開催(商談時の通訳を無償支援)
  - ・ 商談会に参加支援、ビジネスマッチング支援
- 3) 成約までの商談及び契約協商支援
- 4) 商用化支援及び東南アジアなど第3国への輸出支援
- 5) 技術料収入などフォローアップ支援

□ 日韓技術協力支援実績

- 1) 韓国での技術移転商談会9回実施
  - 2) 50件余りの技術協力支援成約事例保有
  - 3) 主要技術移転事例
- ① T社・K大学(日本) ⇒ A社(韓国)
- 間葉系幹細胞無血清培地培養技術、NOJマウス関連技術などの技術移転
  - A社：約30億円投資誘致、KONEX上場、KOSDAQ登録準備中
- ② J社(日本) ⇒ W社(韓国) 活性炭自動再生装置の技術移転
- 韓国売上高約5億円、中国輸出1.5億円、投資誘致 3億円
- ③ O大学(日本) ⇒ J社(韓国) 韓国産竹を原料とした竹繊維炭シートとセルロースナノファイバーの製造技術：連携協力、受託研究契約

□ お問い合わせ

韓国技術ベンチャー財団 東京事務所  
(TEL : 03-3436-1396 FAX : 03-3436-1397)  
E-mail : [jemi5317@gmail.com](mailto:jemi5317@gmail.com) / 担当: キム・ジョンミン

以上

